

## [1] 服装・身だしなみのきまり

### ◎中学生らしく、さわやかに

服装や身だしなみを整えることは、それを目にする他人、自分が出会う人々に対する思いやりです。極端な身勝手さ・心なさ・だらしなさをあらわす服装や格好は、人に不快な思いをさせます。時と場合と、場面にふさわしい身だしなみができるようになるためのきまりです。

### ① 頭 髪

\*学習の場にふさわしい、自然な髪型にする。

※社会に出る第一歩である受験のときの頭髪を前提とします。  
※極端に一部分が短い髪型（ツーブロックなど）についても、中学生くらいの年代になると、いろいろな場面で目をつけられやすく、トラブルに巻き込まれるなどのことも実際に起きています。そうしたことを事前に防ぐという観点から声をかけています。学習の場にふさわしい自然な髪型にしましょう。

\*整髪料や派手な飾りが必要な髪型は学校の場にふさわしくありません。

\*染色・脱色・整髪料（ジェル、ワックス等）禁止です。

\*女子の髪止めは、ヘアピン（パッチンどめ）・ゴムのみとし、大きくなく、危険なものではなく、派手でないものにする。色は黒・紺・茶・シルバーとする。 くちばしクリップ× はさむクリップ×

名札は学校で渡します。

### ② 服 装

\*校章・名札を正しくつける。（名札は5月の終わりまで。6月の衣替えに伴い、6月1日から名札はなし。）

\*標準服を正しく着る。

ズボンをずり下げたり、スカートを巻き上げて短くしたり、ブレザーの袖口をまくって着ない。また、ポケットに不要なものをつけない。ワイシャツをしっかりと入れる。

#### ○標準服の着方

男子：ブレザー（前のボタンはしめる）・ズボン・白ワイシャツ  
（ベルトの色は黒・紺・茶とする。装飾のあるものは禁止）

女子：ブレザー（前のボタンはしめる）・スカート・白ワイシャツまたは白ブラウス・学校指定ベスト  
（スカートの長さは膝頭にかかるくらいにする）

※全校レベルの行事には、以下の基準で参加する。

・式……入学式、卒業式、離任式、退任式、着任式、始業式、終業式、修了式 ※任命式は除く  
防寒着（セーターなど）を着用せず、ブレザーを着用する。ワイシャツの第一ボタンまでしめる。  
女子は学校指定ベストを着用する。  
・集会（朝会）、講演会…防寒着（セーターなど）を着用する場合はその上にブレザーを着用する。  
ブレザーを着用しない場合、男子はワイシャツ、女子は学校指定ベストを最上面とする。ワイシャツの第一ボタンはあけておいてもよい。  
※表彰などでステージにあがる生徒は、式ときの服装（正装）で臨むこと。

\*ワイシャツやブラウスの下にTシャツを着る場合は、白、黒、紺、グレー、ベージュのワンポイント程度の華美でないものとする。なお、節度のある服装を心掛ける。また、体操服も可とします。ただし、ワイシャツから出るハイネックは禁止です。

\*靴下は、黒・紺・白・茶・グレーが望ましい色です。華美でないものにする。

\*くるぶしまでの短い靴下は、足首やアキレス腱にケガをする心配があるので、くるぶしを覆う物を使う。ルーズソックスも同様に、禁止です。

\*熱中症対策のために帽子（つばのついたキャップタイプのもので華美でないもの）、ネッククーラー（首を冷やす商品として市販されているもので華美でないもの）は可とする。

- \*防寒対策のために女子のタイツ、ストッキングを着用する場合は、黒とベージュのみとする。
- \*セーター・ベスト・トレーナーは、防寒用に、ブレザーの下に着用すること。カーディガンや、フードのついたものは禁止です。袖口や裾がだらしなく出てしまうものや、ワイシャツの襟が隠れないようにしましょう。
- \*授業中や休み時間に上着を脱いでそれらが最上面になることはよいが、登下校中は上着を着用すること。
- \*セーター・ベスト・トレーナーの色は、白・黒・紺・茶・グレーが望ましい色です。いずれも柄ものではなく、華美でないものにする。
- \*手袋やマフラー、ネックウォーマーは、実用的なものを使用する。ニット帽、耳あては禁止。
- \*コート類の色は、白・黒・紺・茶・グレーが望ましい色です。いずれも無地で、華美でないものにする。
- \*ひざかけは禁止とする。
- \*制汗シートや日焼け止めは可とする。ただし、においがするものは不可とする。また、制汗スプレーは不可とする。
- \*リップは可とする。ただし、色やてかりがあるものも不可とする。
- \*靴は、運動に適したものにしましょう。  
←体育の授業が受けられる運動靴とし、革靴やサンダルは禁止とする。
- \*悪天候の場合、長靴やレインコートの使用を可とする。  
長靴を履く場合：体育の授業があるときは授業で使用できる靴を持ってくる。  
レインコートを着る場合：濡れたレインコートはタオル等で拭き、ロッカーで保管する。

## [2]持ち物のきまり

### ◎学校の活動に必要なもの(不要物)は持ってこない

授業・部活動・生徒会や委員会活動・行事に必要なもの以外のものは持ちこまない。

- \*不要物とは…携帯電話やスマートフォン、お菓子、おもちゃ、ゲーム類、携帯音楽プレーヤー類  
必要のないお金、腕時計、カメラなどの貴重品、マンガ、雑誌  
学校の内外を問わず中学生が日常使うべきでないもの（法律に反するもの）
- \*水筒やペットボトルの飲料の持ち込みを可とする。  
中身は、水、糖分が含まれていないお茶類・スポーツドリンク類とする。  
ペットボトルに入った飲料を持ってくる場合は必ずカバーをつけ(タオルを巻くでも可)、ゴミは持ち帰ること。
- \*かばんはスポーツバッグやデイバッグとし紙袋やビニール袋で登校しない。  
(ラケットバッグも可 ただし、椅子の下に入る程度)
- \*電子辞書は、授業で許可された教科のみ使用することができる。ただし、自己責任のもと管理をすること。
- \*持ち物には必ず記名をする。上履きには甲とかかとに記名すること。

## [3]生活上のきまり

- \*廊下や階段はもちろんのこと、校舎内では走らないこと。また、廊下や階段に座らないこと。
- \*自分のクラス以外の教室に入らないこと。
- \*他学年の教室のフロアーに、特別教室への移動以外、理由なく立ち入らないこと。
- \*昇降口のスノコやマットの上に土足で上がらないこと。
- \*職員室へ用事がある場合は、荷物を下ろしコートなどを脱ぎ、ノックをして、学年、クラス、氏名を名乗ってから先生を呼ぶこと。
- \*登校後は、許可なく学校の外に出ないこと。
- \*授業の道具で、学校に置いていっても良いものは、学年・教科で伝えるので、それ以外は持ち帰り、家庭学習を心掛けること。
- \*靴の区別をきちんとつけること。（上履き・外履き・体育館履き）
- \*下駄箱に部活のシューズ等を置かないこと。
- \*登下校時に、飲食物を買うことやコンビニ等への立ち寄り禁止。
- \*自転車通学は禁止。
- \*休日の活動で登校する時や再登校の時も、基本的にふだんの登校時と同じとする。（部活動では、顧問の先生の指示に従うこと）